

委員会等の会議録

1 会議名	愛南町御荘地域審議会	
2 議題	(1) 新町建設計画の進捗状況について (2) 海業について (3) その他	
3 開催日時	令和6年2月15日(木) 10時00分から11時16分まで	
4 開催場所	愛南町御荘文化センター 2階 大研修室	
5 傍聴者数	0人	
出席者		
6 委員氏名	河野 仁、松本 明子、坂尾 良美、坪崎 正行、砂田 陽子、 増田 智彦、藤田 一郎、稲住 好秋、田原 朱美	
7 担当所属	所属名	企画財政課
	担当職員 (職・氏名)	課長 清水 雅人 課長補佐 桑原 真也 課長補佐 尾崎 光弘
8 その他の 出席職員	所属名	水産課、水産課海業推進室、御荘支所
	出席職員 (職・氏名)	町長 清水 雅文 副町長 木原 莊二 課長 濱 哲也 室長 浜辺 隆博 支所長 宮本 良也 課長補佐 和気 祐二
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
	(開会)
坪崎会長	議題(1)「新町建設計画の進捗状況」について説明をお願いします。
桑原課長補佐	(新町建設計画の進捗状況について説明)
坪崎会長	質疑等ありませんか。
全委員	(なし)
坪崎会長	議題(2)「海業」について説明をお願いします。
浜辺室長	(海業について説明)
坪崎会長	質疑等ありませんか。 では私から、水産課と水産課海業推進室の仕事のすみわけはどうなっているのでしょうか。
濱課長	昨年度までは水産課の中に水産振興係があり、この4月から室長をお迎えし、その機能を有したまま海業推進室を作りました。これまでの水産振興もしながら海業もしていきます。また、水産課には維持係であるハード部門を担当しているところが別にあります。
浜辺室長	行政の縦割りを海業で排除しながら、いろいろな取組を横連携させていくことが海業推進室の役割です。
坪崎会長	「海のうつつわ」は合併特例債を使う予定でしょうか。
清水課長	「海のうつつわ」はB&G財団の申請が通れば、B&G財団が資金を全部出してくれるので、合併特例債を使う予定はありません。
坂尾委員	資料の中で、解体中のサンパールの写真がありますが、海業とサンパールの解体は何か関連があるのでしょうか。

浜辺室長	「海のうつわ」を活性化の起爆剤として紹介する中で、現状、サンパールが解体され宿泊施設が減っているなどの地域課題の事例として写真を掲載しており、直接的な関連性はありません。
坪崎会長	その他質疑等はありませんか。
全委員	(なし)
坪崎会長	その他、町に対し全体での質疑等はありませんか。
松本委員	紫電改の施設が改修されるようですが、愛南町は紫電改の展示を生かしきれていないのではないのでしょうか。観光客も現状では少ないと思います。平和学習など内容を充実させたらどうでしょうか。子供たちの勉強にもなるとと思います。
副町長	紫電改の改修は、中身の充実をメインに展開していくコンセプトなのでいろいろと期待できます。場所も少し移して道も広がるような県の計画です。全て県が対応して取り組んでいるので、意見交換会の中では町の意見も言わせていただく予定です。今後も御意見があれば教えてください。
松本委員	ねんりんピックで老人クラブが手芸の展示をしたことについて、広報の掲載ができなかったののでどうにかできないのでしょうか。
副町長	ねんりんピックの広報の掲載について詳細は分かりかねますが、事後でもかまわないのであれば広報担当に話をして別の方法で掲載できるよう対応します。
増田委員	1月1日の能登半島の地震災害は他人事ではありません。防災と海業は、安全安心の生活という面では通じるものがあると思います。防災対策課の防災学習や訓練は良いと思います。自主防災組織の資質の向上やヘリポートについても考えていかなければならないと思います。
清水課長	防災対策課へ今の意見を伝えます。
浜辺室長	能登半島地震でも生活の再生と生業の再生という二本柱で取

坪崎会長 全委員	<p>組が進められています。生業の再生の部分で産業が間違いなく重要であり、海業のプラットフォームになれば良いと思っています。そういった横の繋がりを大事にして強固なものにしていきたいと考えています。</p> <p>その他質疑等はありませんか。</p> <p>(なし)</p> <p>(閉会)</p>
-----------------	--